



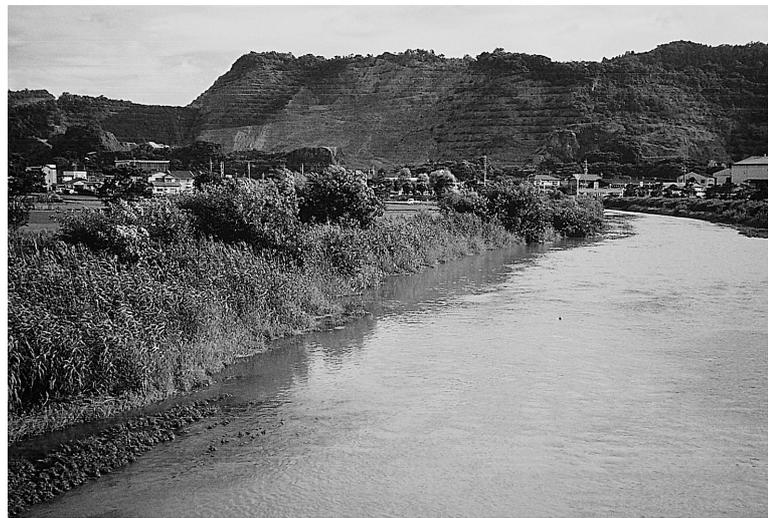
坂口 博 議員

河川管理について

町長

砂防河川を含めて河川管理は大切なものと認識、災害があると下流域への負担、上流地域の防災上の問題等、国、県の方へ継続的にお願いして行く。また、同時に南部地域における杭瀬川を始め、他の一級河川の中に草、雑木が生

池田町は41%の山地を擁し、14の砂防河川、南北に国道が、また一級河川の杭瀬川が南下している。この川も洪水によって、雑木の種や枝が流れ着く。生長も早い。台風シーズンを迎える迄に雑木の伐採、浚渫作業の実施を。
異常出水対策の内、河川維持修繕事業で対応、堤防の内側、腰から肩までの補強工事を順次実施されたい。外来種のヌートリア、住む所もなくなる。一石二鳥だ。
昔捕獲すると報奨金が出たが、考えてみてはどうか。
河川へのゴミの不法投棄が往々に見られる。山の中も同様、対応はいかがか。



雑木が茂る杭瀬川（中川橋付近）

い茂っている事実も承知。毎年、県土木へ申請し、浚渫等については、泥の置場の確保が出来れば、予算化も可能だ。護岸工事も継続して実施する。捕獲について、有資格者に許可を出しながら対応したい。

河川関係のゴミ処理の状況ですが、中学生を含めクリーンカムバック、町として実施したり、区長を中心に自然保護委員協力のもと実施しているが、なかなか成果が上がリません。住民の方のモラルの問題、先の子供議会においても2、3人から質問があり、子供の目から見ても良くない状況です。今後そういった面での会話を進めて行きたい。

池田町として河川と向き合って防災上、あるいは下流の地域に住んで見える皆さん方に安心していただけるような対策も進め、県へ継続的に要望していきたい。